

令和5年度 第10回県政参画電子アンケート  
「鳥取県学校教育DX推進計画」に関するアンケート  
結果概要

1 調査概要

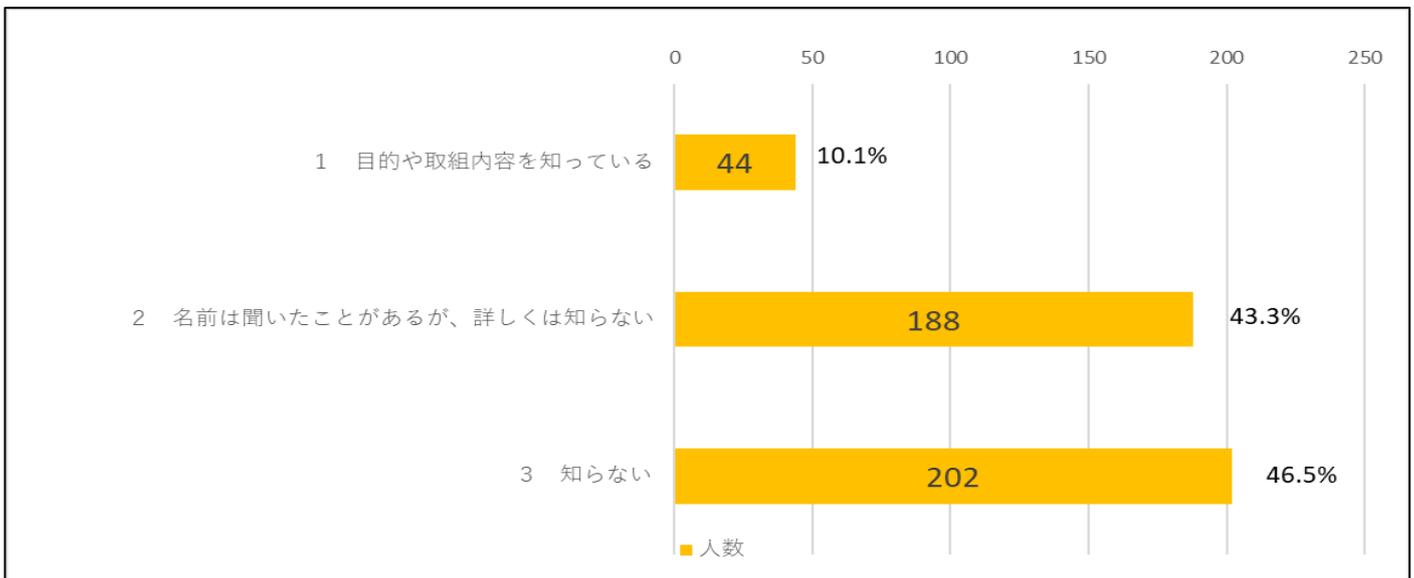
- テーマ 「鳥取県学校教育DX推進計画」に関するアンケート
- 実施期間 令和5年12月8日～12月18日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 761名
- 回答数 434名(回答率 57.03%)

2 目的・概要

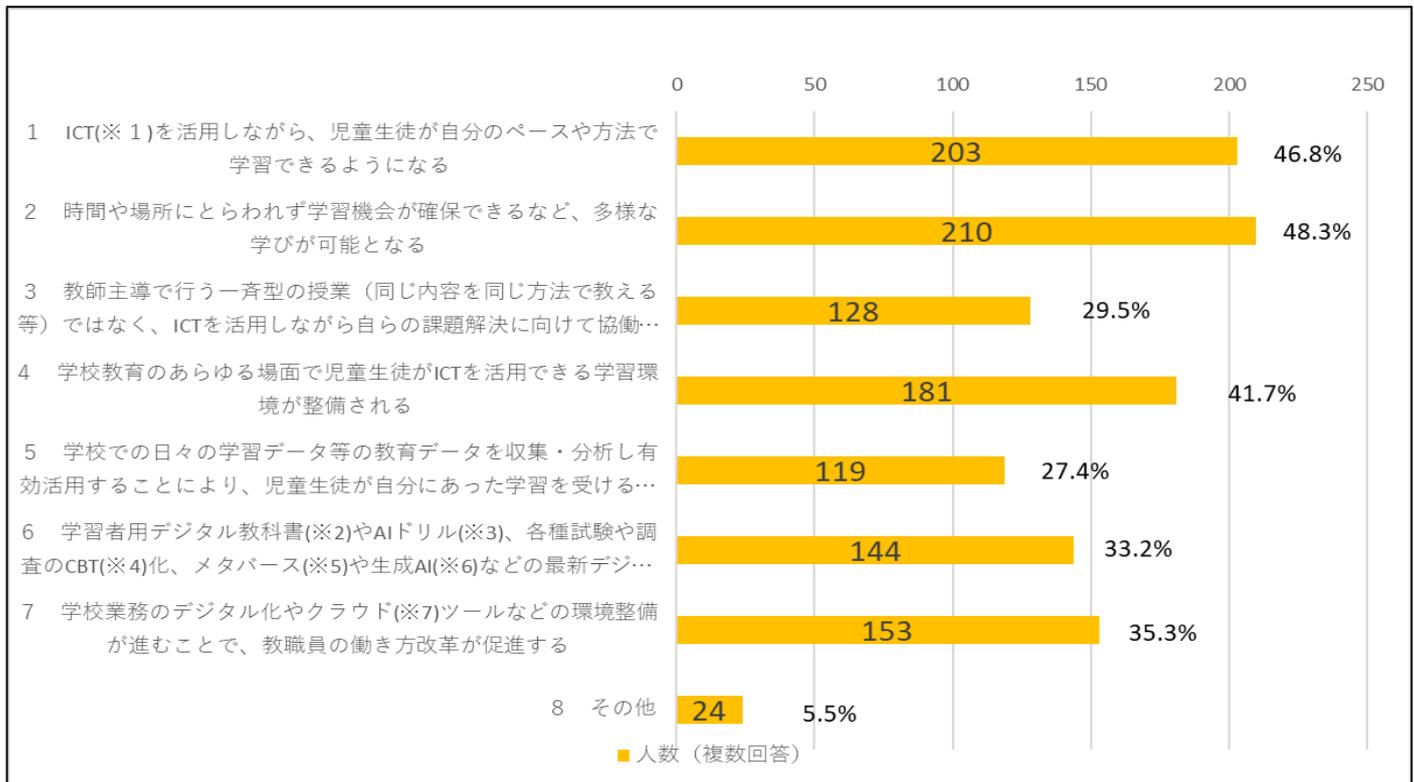
鳥取県では、令和3年2月に策定した「鳥取県学校教育情報化推進計画」に基づき、戦略的な教育の情報化の推進に取り組んでいるところです。

このたび、さらなる推進を図るため、同計画を改正し、新たに「鳥取県学校教育DX推進計画」(令和6年度～令和9年度)を策定するため、県民の皆様から幅広く計画案に対するご意見をいただきたく、アンケートを実施しました。

【問1-1】学校教育の情報化の取組の1つとして、国が進めている「教育DX※(デジタルトランスフォーメーション)」についてどのくらいご存じですか。



【問2】教育 DX と聞いてどのようなことをイメージされますか。当てはまるものを全て選択してください。



<※1～※7について>

※1: ICT…Information and Communication Technology の略称で、情報や通信に関する技術の総称のこと。

※2:デジタル教科書…従来の紙の教科書の内容の全部を電磁的に記録したもの。平成 30 年の「学校教育法等の一部を改正する法律」等により制度化され、教育課程の一部において紙の教科書に代えて使用することが可能となっている。手元の端末で拡大したり、書き込んだり、音声読み上げやルビを振るなどのデジタルだからこそできる機能を活かして児童生徒の学習の充実を図ることが期待できる。

※3:AIドリル…教材に AI を導入し、児童生徒の理解に応じて復習問題を反復、または自動選択で表示する等の機能を持たせたもの

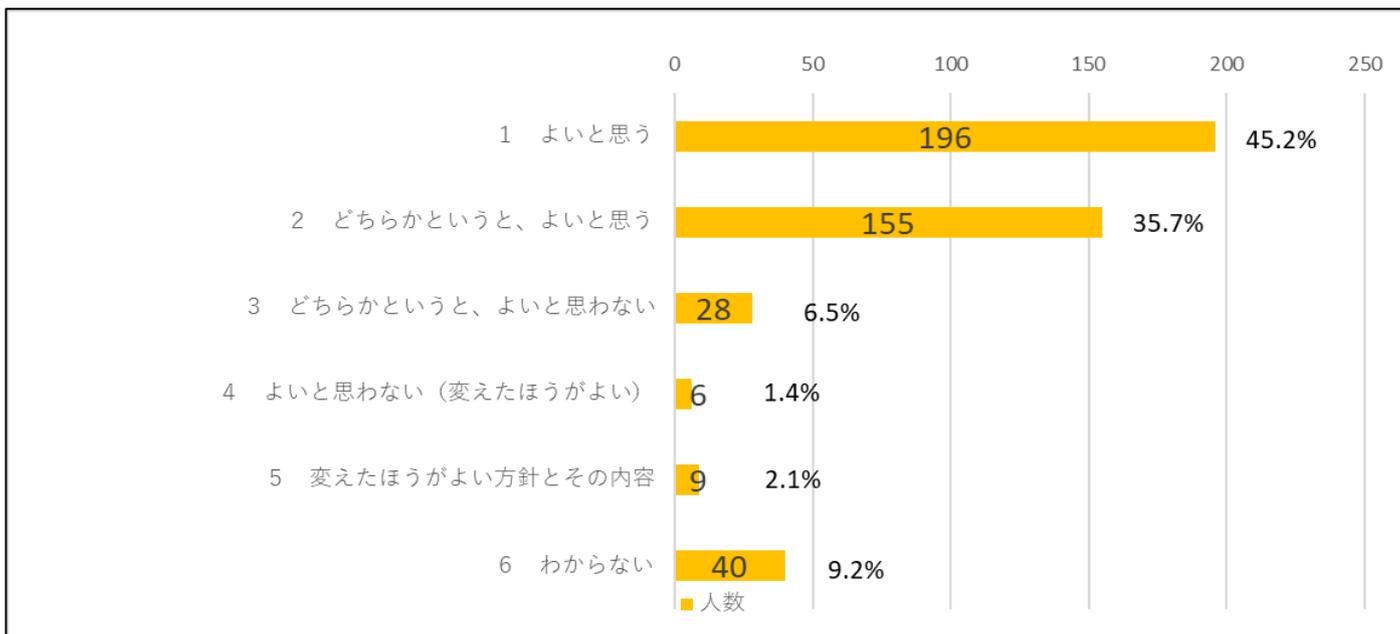
※4:CBT…Computer Based Testing の略称で、コンピュータを使った試験方式のこと

※5:メタバース…インターネット上に構築された人数参加型の仮想空間

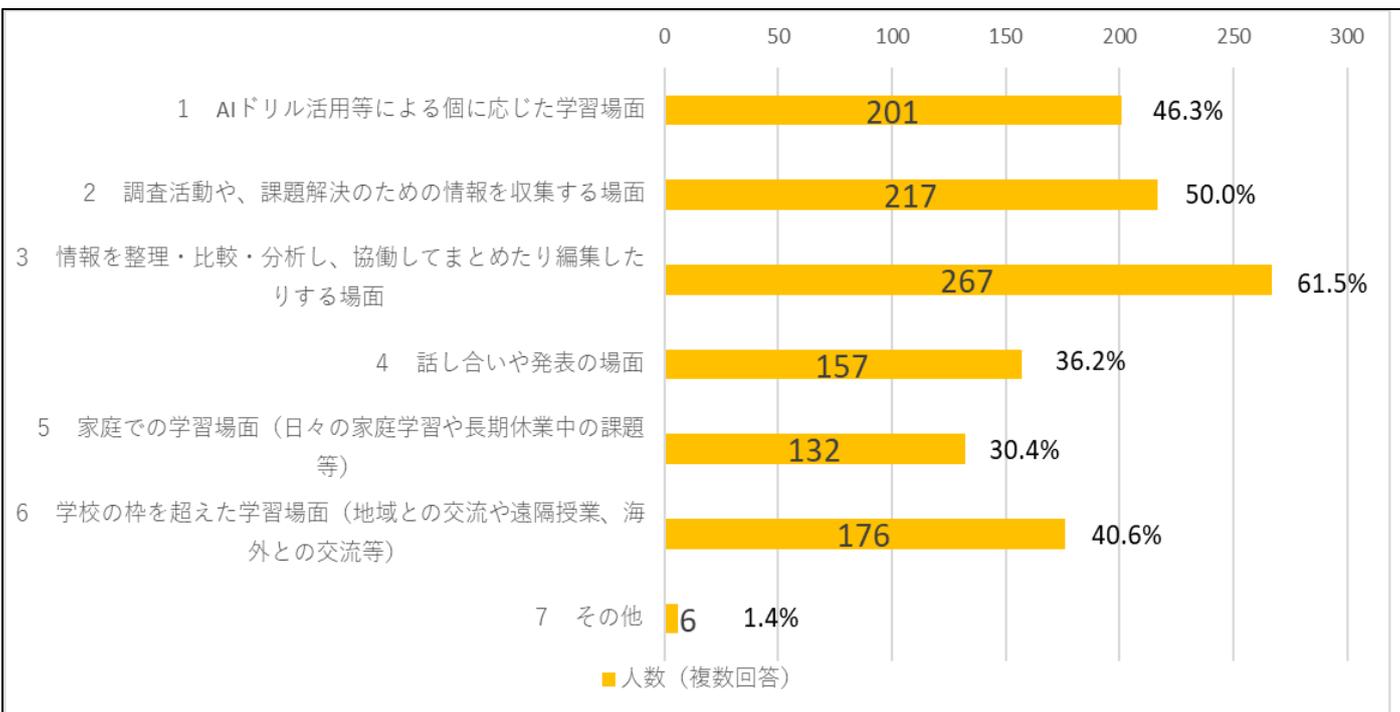
※6:生成 AI…ある種のデータを学習し、文章、画像、音楽、動画などを生成できるテクノロジーである生成 AI のうち、人間とコンピュータとの対話を、あたかも人間同士がしているように自然な形にするためのテクノロジーを指す。ChatGPT、Bing、Bard など。

※7:クラウド…ユーザーがインフラやソフトウェアを持たなくても、インターネットを通じて、サービスを利用できるもの。サーバーや記憶装置などのインフラ機能をネットワーク経由で提供するサービス等。

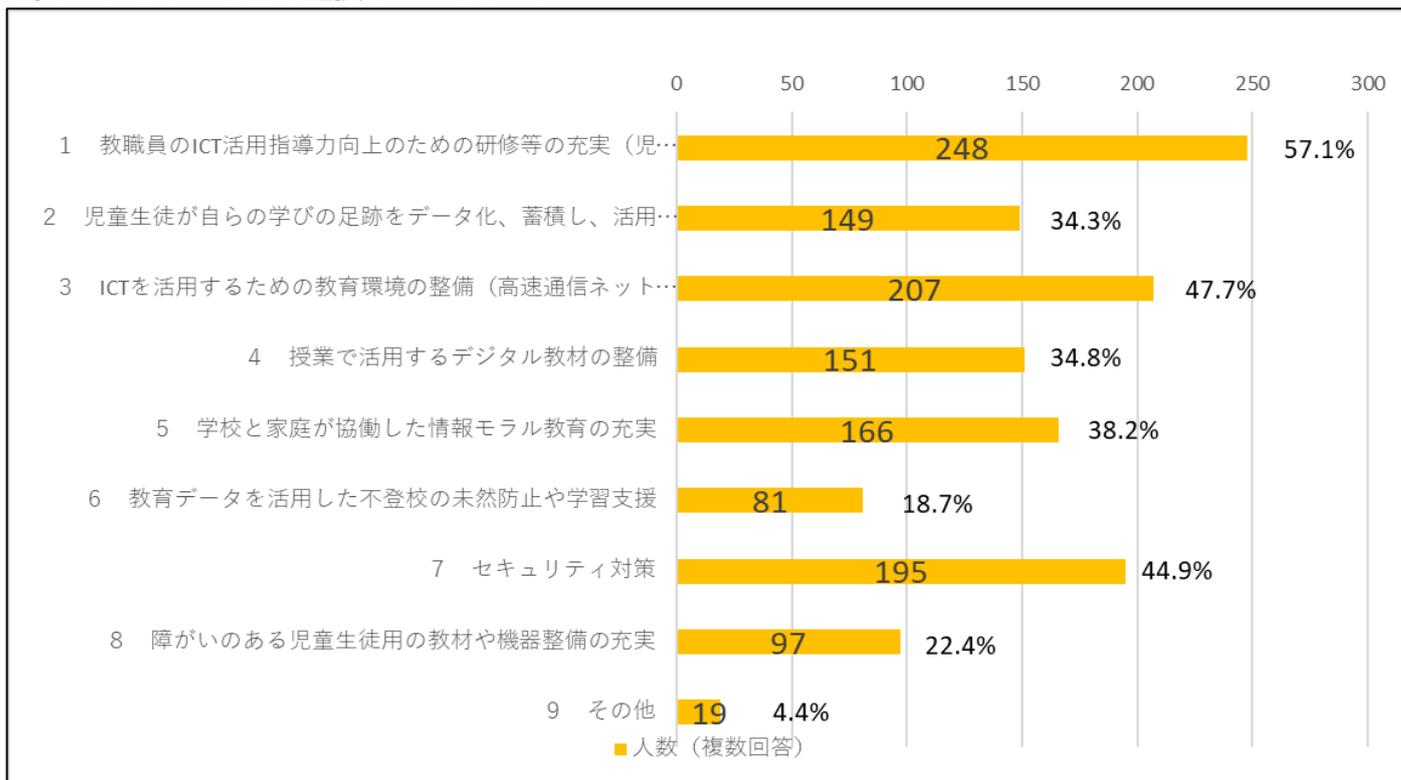
【問3】学校の教育 DX を進めるために、計画で以下の4つの方針を掲げています。この方針についてどう思いますか。



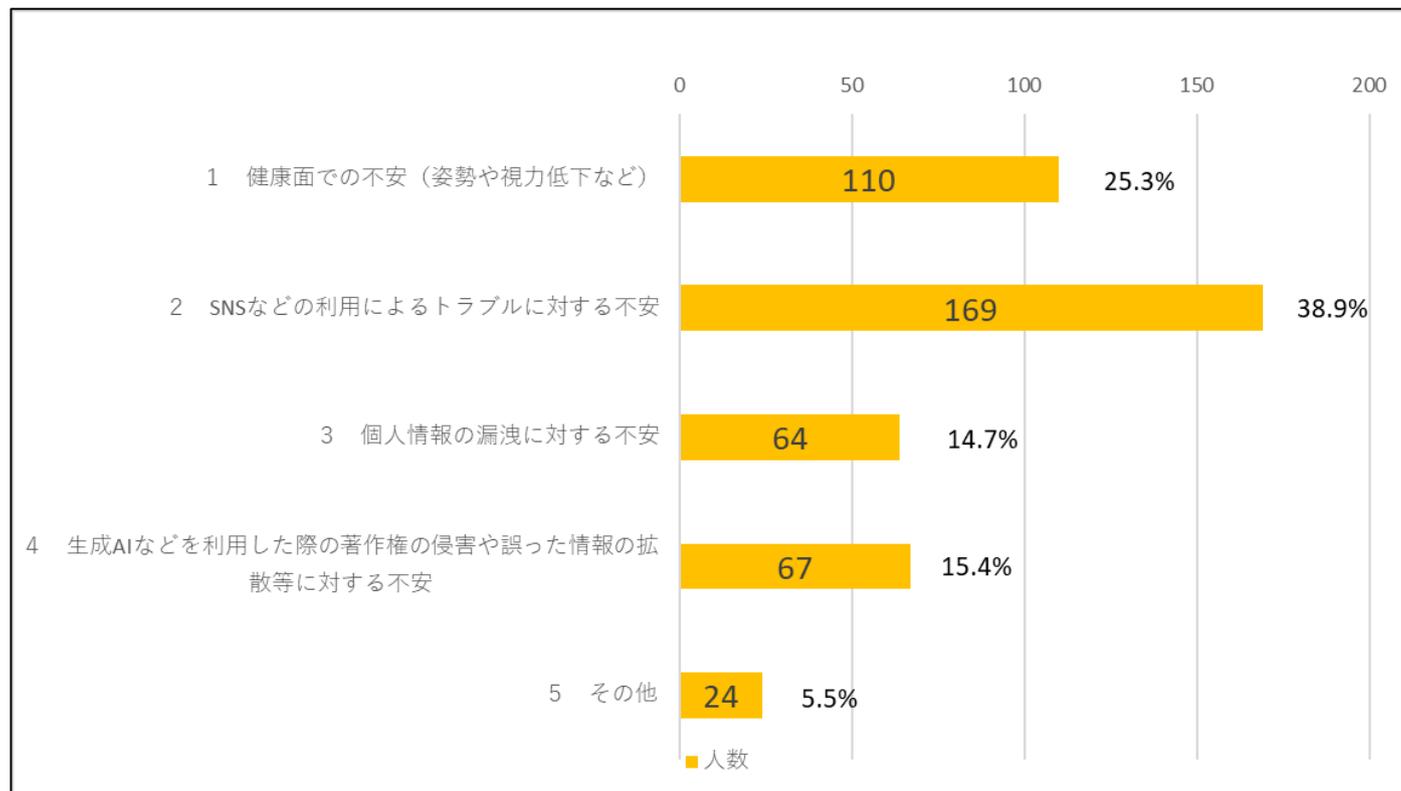
【問4】子どもたちの情報活用能力を育成する上で、どのような場面で ICT を積極的に活用していくべきだと思いますか。当てはまるものを全て選択してください。



【問5】学校教育で ICT を活用する場面において、優先的に取り組むべきことは何だと思えますか。当てはまるものを全て選択してください。



【問6】児童生徒が ICT を活用することについてどのような不安がありますか。



【問7】教育 DX を進めるにあたり、必要な体制作りについて何が重要だと思いますか。

